



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュ - スレタ - No.109

2005年10月

数えてみよ。主の恵み。

コルネリオ会前会長 石川信隆

この度、2005年9月17日のコルネリオ総会で私はコルネリオ会会長を退任し、新会長には今市宗雄兄が選出されました。これまで約5年間、力不足で信仰的にも不十分な私を支えてくださった主と皆様方に心から感謝申し上げます。この5年間は、2002年のAMCFアジア大会東京開催、2004年AMCF世界大会(ソウル)参加、2005年Interaction東京開催と大きな行事が3つもありました。特に、今年8月にコルネリオ会が主催した2005 Interaction East Asia(東アジア地区軍人キリスト者リーダー研修会)では、主から大いなる恵みと祝福を頂きました。主と皆様方に心から感謝申し上げます。主はこの研修会に韓国14名、台湾3名、アメリカ5名、中国1名、インドネシア1名の軍人キリスト者のリーダーを送って下さり、日本の防衛関係キリスト者の中から12名を導いて下さり、学びにおいて、友好において大いなる収穫を与えて下さいました。数えて見よ。主の恵み。コルネリオ会に参加して数え切れない恵みを頂きましたが、いくつかの出会いを記して感謝を表したいと思います。

主との出会い

1986年8月、日本で初めてアジア地区軍人クリスチャン大会がコルネリオ会で開催されたとき、私はまだ未信者でしたが、今井名誉会長から誘いを受けて参加し、しかも司会の大役まで仰せつかりました。そのとき、韓国のChaplainとの祈りの中で罪を示され、その年の10月馬堀聖書教会主催の羽鳥明先生による特別伝道集会のなかで、イエス・キリストを受け入れ、12月7日洗礼を受けました。したがって、第1回アジア地区軍人クリスチャンの東京大会は私にとって、イエス様

との出会いのきっかけを作っていただいた、忘れられない大会でした。

宣教に燃えるコルネリオ会会員との出会い

私が会長であったこの5年を振り返りますと、2002年アジア大会の時は伊藤兄を、2004年世界大会の時は再び今市兄を、2005年Interactionの時は中野秀知兄を主が送って下さいました。また矢田部兄、滝口兄、中野(久)兄、圓林兄、加瀬兄、長濱兄、金宣教師、月井牧師や鈴木兄、名誉会長の今井先生など宣教に燃えるメンバーとの出会い、特に金宣教師からは励ましと精力的なご奉仕を賜り、心から感謝するものであります。さらに馬堀聖書教会の徳梅牧師、後藤兄など他にも多くの教職の先生方や会員の皆様、良き理解者の皆様のお祈りとご協力を頂きましたことを心からお礼申し上げます。

素晴らしい外国軍人クリスチャンとの出会い

またこの5年間、数多くの世界の軍人クリスチャンとの出会いがありました。コルネリオ会(正式名はJMCF(Japan Military Christian Fellowship))は小さなグループではありますが「All one in Christ Jesus. あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。(ガラテヤ3:28)」をモットーとするAMCF(Association of Military Christian Fellowships)という世界組織の中の一つであります。このAMCF世界会長のLee, Pil Sup 退役大将(元韓国統合参謀総長)ご夫妻にお会いできたことは、コルネリオ会に在籍していたお蔭でありました。奇遇にも私の防大卒と同じ1960年韓国陸軍士官学校卒で、実に謙虚で飾らない真のクリスチャンで、現在、世界を飛び回り、全世界に

MCF(軍人クリスチャンの会)をつくる働きをしています。また、今回 Interaction に参加していただいたアメリカの Don Snow さんや韓国の Kim 海軍准将や Kim 空軍大佐、Hwang 少佐、Kang 少佐、台湾の Mo 大佐など素晴らしい軍人クリスチャンに出会うこともできました。このような出合いを用意して下さった主に感謝しています。また在日米軍 Rick Ryles 大佐とは、約 20 年近くの友人であり、今回の Interaction でも助けられました。

「今後のコルネリオ会のあり方」について

これまでコルネリオ会は主にアジア大会、Interaction など大きな行事の実施に追われ、コルネリオ会はどうあるべきかについてあまり真剣に議論して来ませんでした。今回、韓国代表の Hwang, Inkew 兄の証しを通して私は今後のコルネリオ会は「**現役自衛官のための祈り**」を重視したいと思いました。現役の自衛官はいざという戦時には死を覚悟しなければなりません。平時においても過酷な訓練、夜遅くまでの幕僚勤務、上司に対する仕え、隊員との交わり、休日出勤

などクリスチャンとしてこの世との戦いが多くあります。宴会や葬儀、神社参拝などその時々で知恵が求められます。毎月 1 回のコルネリオ会の例会ではこの現役自衛官のために祈ることによって、現役自衛官が勇気と知恵と聖霊の力を受け、新しい一ヶ月間の歩みが出来るようにしたいものと思います。

コルネリオ会の会員 1 人は 1 万人分の自衛官を代表し、福音を宣べ伝える者として、また平和をつくる使者として主から選ばれた存在であります。「恐れるな、小さき群れコルネリオ会よ。汝らの御国を賜うことは汝らの父の御心なり。(ルカ 12:32-3)」

これから私はコルネリオ会の渉外を担当して、今市新会長を補佐していくこととなります。

今後のコルネリオ会と今市新会長のために更に皆様のお祈りとご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、皆様のご家庭の上に主の豊かな恵みと祝福がありますようにお祈りします。本当にいろいろ有難うございました。これをもって退任の挨拶とさせていただきます。 感謝を以て 在主

戦争について考える (その 4)

戦争観

私の戦争観は次のとおりである。

1. 戦は、やってはならない

好漢は去らしめられるのである。愛する人々は分かたれるのである。いたいけな幼子は苦しめられるのである。寄る辺なき寡婦は涙にくれるのである。繰り返しになるが、だから戦はやってはならないのである。

だがしかし、一見はなはだ矛盾しているようであるが、敢えて一戦を辞せざる覚悟と、その覚悟を 実行に移すことの できる 実力と、その覚悟と実力を制御する知恵と、三つながらを併せて持たないと、いくさを防ぎ民族と国家を長からしめることは難しいと思うのである。

剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする 日の近からんことを祈りつつそう思うのである。(イザヤ書 2:4 参照)

コルネリオ会 会員(元海将) 足立順二郎

2. 世に 正義の 戦は ない

この人間の世界に正義はない。

我々のいう正義は、汚れた衣のようなものである。(新共同訳聖書 イザヤ書 64:5 参照) もっとも、「汚れた衣」といっただけではピンと来ない。しかし、新共同訳聖書にいう「正しい業もすべて汚れた衣」の「汚れた衣」はジェイムズ王欽定訳によれば filthy rags である。これには「経血で汚れたぼろ」という訳があるそうである。

この世に正しい人はいないのである。

義人はいない。一人もいないのである。(ローマ人への手紙 3:10 参照) この世に正義や義人がないならば、この世に義戦はない。だが、戦争の当事者たちは皆「自分は正義の戦争をやっている」という。皆正義の旗を掲げて戦う。そして「勝てば官軍、敗れば賊軍」である。この意味では国が百あれば正義もまた百ある。

以降は次回ニュースレターに掲載いたします。

2005 年度 総会報告

9月17日(土)、市ヶ谷で2005年度コルネリオ会総会が実施されました。2004年度の活動報告・会計報告と2005年度の活動計画・予算計画及び役員人事があり、その後感謝食事会、祈り会を持たせていただき、力強いみ言葉をいただきました。

また、2005年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は以下のようになっています。異議のある方は会宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

2005 年度コルネリオ会活動計画および担当者

1. 2005年 Interaction の祝福を受けて、今年度は主として『現役自衛官のための励まし』を目的として、以下のような活動を行う。

(1) 毎月のコルネリオ例会で現役自衛官のために、励ましのお祈り会(Conversational Prayer)を毎回行う。

(2) 在日韓国軍人、在日米軍人等と国内での Interaction を活発に行い、コルネリオ会を国際交流の場として、魅力あるものとする(10月22日に横田 MCF と行う)。

石川兄(後藤兄)、中野副会長

(3) 聖書の学びテキスト『ストレス』を通して、聖書講解に強くなり、聖霊に満たされるようにする。

この際、Inductive Bible Study を適用して、リーダー養成にも努める。 今市会長

2. 国内での以下の主な行事を開催する。

(1) 自衛隊福音宣教会と協力して、自衛隊宣教大会を共催する。

今市会長、伊藤副会長、金牧師

(2) コルネリオ聖会またはコルネリオ修養会を検討する。

今市会長、伊藤副会長、加瀬兄

3. 国外での以下の主な行事に参加する。

(1) 2006 Interaction East Asia (韓国、8月末か9月)に参加する。 加瀬兄、長濱兄

(2) English Camp(場所・時期未定)への参加を検討する。

中野(秀)兄

4. 会計

(1) 自衛隊福音宣教大会(金牧師)のために、献金を募る。

(2) 防大聖書研究会(徳梅牧師)のために支援する。

(3) 広報活動、特に新聞広告(キリスト新聞、クリスチャン新聞、百万人の福音)などのために献金を募る。

(4) 海外宣教師(下桑谷師、片山師など)のために支援する。

(5) コルネリオニュースレターの発行のために献金を募る。

長濱兄、中野(秀)兄、圓林兄

5. 広報・連絡

(1) コルネリオニュースレターのメール発行を検討する

(年3-4回)

(2) ホームページを充実するとともに、E-mail を利用して連絡を密にする。

中野副会長、圓林兄

6. 渉外・組織

(1) 国内の支援団体と協力して、コルネリオ会の組織力を高める。できれば関西支部(井草師)を発足させる。

(2) 国外(AMCF 東アジア地区 Lei 副会長、ACCTS など)とコンタクトを保ち、関係を深める。

今市兄、中野副会長、石川兄

7. コルネリオ会員名簿を作成する。現役および退役自衛官クリスチャンの入会を勧める。

今市会長、伊藤福会長、中野副会長、石川兄、全員

8. 賛美チームを検討する。

加瀬兄、桧原姉

9. コルネリオ会事務所確保を祈りの課題とする。

伊藤副会長、金牧師

役員人事

名誉会長	矢田部 稔	監査	中野 秀知
会長	今市 宗雄	渉外	石川 信隆
副会長・総務	中野 久永	顧問	滝口 巖太郎
副会長	伊藤 忠臣	顧問	鈴木 建一
企画	加瀬 典史	教職顧問	金 学根
広報	圓林 栄喜	教職顧問	井草 晋一
会計	長濱 貴志		

なお、今井健次兄は、永久名誉会長へ

2004 年度決算

(2004.3.31~2005.9.17) 決算

1 収入	前年度繰り越し	¥2,000,603
	献 金	¥1,182,670
	集会等参加費	¥24,500
	利息(郵便局定期貯金)	¥32,903
	合 計	¥3,240,670

2 支出	講師・謝礼費	¥280,000
	ニュースレター作成・発送費	¥72,065
	新聞雑誌広告費	¥0
	事務通信費	¥89,695
	慶弔費	¥39,300
	接待交際費	¥80,198
	旅費・交通費	¥10,000
	集会費	
	聖会・例会会議費	¥36,971
	防衛大聖書研究会	¥0
	雑費（振り込み手数料）	¥2,867
	献金（国内教会・自衛隊宣教会等）	¥291,318
	2005 インターアクション支援金	¥975,044
	次年度への繰越金	¥1,623,218
	合 計	¥3,240,676

1 収入	参加費（一部参加）	¥861,500
	献 金	¥62,390
	コルネリオ会支援	¥975,044
	収入合計	¥1,898,934
2 支出	宿泊費	¥899,500
	会議室・教会使用料	¥126,000
	送迎費・交通費	¥137,190
	食事・接待	¥340,966
	航空代支援	¥200,000
	献 金	¥70,000
	通訳者交通費	¥5,000
	飲料・紙皿等	¥20,429
	ツアー関係	¥95,250
	事務通信費	¥4,599
	支出合計	¥1,898,934

2005 年度予算

(2005.9.18 ~ 2006.3.31)

1 収入	前年度繰り越し	¥1,623,218
	献 金	¥500,000
	合 計	¥2,123,218
2 支出	講師・謝礼費	¥50,000
	ニュースレター作成・発送費	¥50,000
	新聞雑誌広告費	¥50,000
	事務通信費	¥30,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥50,000
	交通費(韓国 Interaction 参加)	¥250,000
	集会費	
	聖会・例会会議費	¥40,000
	防衛大聖書研究会	¥30,000
	雑費（振り込み手数料）	¥10,000
	献金(国内・国外宣教師)	¥100,000
	予備費	¥1,443,218
	合 計	¥2,123,218

2005 東アジア軍人クリスチャン研修会終了

2005 東アジア軍人クリスチャン研修会（2005 Interaction）が去る8月12日から17日まで高輪東部ホテルで実施されました。

参加者は日本12名、韓国14名、台湾3名、米国6名、インドネシア1名、支援者12名（日本9名、韓国3名）の計48名にのぼり、多くの恵みの中で幸いな交流と学びがなされました。

愛する兄弟姉妹のお祈りとさまざまな支援に支えられました、本当にありがとうございました。大会参加者の声は次回ニュースレターに掲載予定です。今回の大会の決算報告を以下に掲載します。不明な点がありましたら、お知らせください。よろしく願い申し上げます。



東アジア軍人クリスチャン研修会参加者写真

祈りの課題

- 1 防大聖研のためにお祈りください。
- 2 イラクに派遣されている自衛隊員の安全のためにお祈りください。
- 3 コルネリオ会会員の信仰が守られ、それぞれの職場で主の御名が崇められる働きができるようにお祈りください。

皆様のご意見、ご感想をお待ちいたしております。匿名でも結構です。自由なご意見をお寄せ下さい。（編集子）

コルネリオ会（JMCF）
（防衛関係キリスト者の会）

コルネリオ会広報室
〒895-0041 鹿児島県薩摩川内市隈之城町 215-4-2-24
園林 栄喜

電子メール: enrin@m9.dion.ne.jp
郵便振込口座 00130-3-87577 コルネリオ会
コルネリオ会ホームページ：
<http://www.geocities.jp/samuel1/index.html>